

政策提言フォローアップ状況一覧

地域防災力・産業競争力の重点強化地域		
地域	政策提言の具体施策	フォローアップ ※【 】内は実施主体
山陰 (境・浜田等)	ソフト施策	
	日本海側拠点港としての機能強化	【鳥取県・島根県・境港管理組合等】 ・2011.11、境港(国際海上コンテナ、背後観光地クルーズ、原木)及び浜田港(原木)が日本海側拠点港に選定された。(括弧内は選定された機能) ・2012.11、全国の港湾管理者等からなる『全国クルーズ活性化会議』が設立され、鳥取県、鳥取市、境港管理組合、境港市、松江市、島根県も会員となる。 ・2013.5、境港は日本海側の港湾と所在自治体でつくる『環日本海クルーズ推進協議会』に加入。 ・2013.9、国際コンテナターミナルの拡張工事が完成し、供用開始。 【国】 ・2012.9、第11回日本海側拠点港の形成に関する検討委員会において、フォローアップを実施。
	境港の機能を最大限に発揮するための埠頭再編	【境港管理組合】 ・外港中野地区及び竹内南地区の岸壁整備に合わせ、背後施設の配置及び各地区の利用形態の再編について取り組んでいる。
	リサイクル貨物の取扱に係る規制緩和	【境港管理組合】 ・2011.2、境港におけるリサイクル貨物等の荷役作業取扱要領を改正。埠頭用地でのリサイクル貨物の保管期間の延長や荷積み高さ制限を緩和。 【民間企業等】 ・2014.8、リサイクル業者2社は、リサイクル事業の実施に関し鳥取県・境港市との間で協定書を締結。今後リサイクル工場を建設し両者が事業連携する。
	高規格道路との連絡機能等を最大限に活用した背後圏の拡大、新規需要の開拓	【鳥取県・島根県・境港管理組合】 ・2012.12、浜田港とウラジオストクを結ぶ国際RORO航路の定期化(月2便)
		【産・学・官等】 ・2015.7、産・学・金・官等、地元関係者でつくる「境港流通プラットフォーム協議会」を設立 ・2016.5、県境を越えた広域で産・学・金・官等、地元関係者が連携し、「浜田港拠点化形成研究会」を設立
		【境港管理組合】 ・2015.12、国内RORO定期化に向けた試験輸送実施(北九州ひびき～境港) ・2016.6、国内RORO定期化に向けた試験輸送実施(境港～敦賀港～苫小牧港)(敦賀～苫小牧は既存航路有)
		【企業等】 ・2015.4、境港のリサイクル拠点となる新工場が稼働
	ハード施策	
	地域防災力と産業競争力の強化に資する基礎インフラの整備	
	日本海側のゲートウェイに相応しい交流拠点の整備	
	物流と人流の適切な機能分担に資する旅客船ふ頭の確保	
	施設の計画的かつ適切な維持管理の推進	
	[重点的なプロジェクト]	
境港国際物流ターミナルの整備	【国】 ・境港外港中野地区国際物流ターミナル(水深12m)の整備を推進中。2016年度完了予定。	
境港複合一貫輸送に対応した貨客船ターミナルの整備	【境港管理組合】 ・2013.6、竹内南地区貨客船ターミナルの機能や運営手法などを検討する『官民連携によるぎわいづくり検討委員会』を発足。計4回の委員会開催により、『官民連携による賑わいづくり計画』を策定。 ・北海道と境港を結ぶRORO船の定期航路化に向けて、2013年度に3回のトライアル輸送を実施。 ・2014.12、国内RORO定期化に向けた試験輸送実施(苫小牧港～境港～新潟港～苫小牧港) 【国】 ・2013年度、貨客船ターミナルの整備に向けた調査を実施 ・2015.4、境港竹内南地区ふ頭再編改良事業に新規着手	
山陰道の整備	【国】 ・2013.12、鳥取西道路(鳥取IC～鳥取西IC:約2km)、中山名和道路・名和淀江道路が全線開通。 ・2015.3、山陰道の仁摩・温泉津道路及び中国横断自動車道 尾道松江線 全線開通 ・2016.4、山陰道(福光～浅利:6.5km)を新規事業化 ・2016.4、山陰道(俵山・豊田道路:13.9km)を新規事業化	
浜田港臨港道路の整備	【国】 ・浜田港福井地区臨港道路の整備を推進中。	
浜田港新北防波堤の整備	【国】 ・浜田港新北防波堤(延長400m)の整備を推進中。	

地域防災力・産業競争力の重点強化地域			
地域	政策提言の具体施策	フォローアップ ※【 】内は実施主体	
備前備中 (水島等)	ソフト施策		
	国際バルク戦略港湾の機能の充実	<p>【岡山県・倉敷市・民間企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011.8、岡山県、倉敷市、穀物サイロ会社にて水島港国際バルク戦略港湾推進協議会を設立。 ・2012.7、国際バルク戦略港湾計画に対応した港湾施設を水島港港湾計画に位置付け(港湾計画の変更)。 <p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度、資源・エネルギー等の海上輸送ネットワークの拠点となる埠頭において整備される荷さばき施設等に係る課税標準の特例措置(国際バルク戦略港湾に係る税制特例措置)の創設。 	
	安全に配慮した潮汐の利用による航路航行、錨泊地の利用	<p>【国・岡山県等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航行規制の諸課題について、関係者との情報交換を実施中。 	
	企業間連携による2港寄り等による大型船の有効活用	<p>【民間企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイロ会社等における共同配船計画に基づき、より効率的な輸送を実施中。 	
	備讃瀬戸航路等のより安全かつ効率的な航行の実現		
	総合特区(水島コンビナートに係る総合特区による種々の規制緩和の促進)の実現	<p>【岡山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011.12、水島港臨海部が地域活性化総合特別区域(ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区)として指定された。 ・航行や停泊等の規制緩和により、国際バルク戦略港湾に選定された水島港の海上輸送効率改善を図るハイパーロジスティクス港湾戦略を推進中。 とん税法及び特別とん税法の船舶の再入港時の非課税要件の緩和(2012.7実現) 関税法による船舶の錨泊地の利用基準の緩和(2012.7実現) 港則法による船舶の錨泊地の利用基準の緩和(2013.3実現) 船舶に対する航路航行制限の緩和(調整中) 	
	コンテナターミナルの運営の効率化	<p>【岡山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012.7、港湾の一体的かつ効率的な運営の促進を図るため、水島港港湾計画を変更(効率的な運営を特に促進する区域)。 ・2014.1、港湾運営会社を指定(2014.4.1より港湾運営を開始予定) ・2014.4、「水島港国際物流センター株式会社」が港湾運営を開始 	
		<p>【玉野市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇高フェリー運航の存続を玉野市長から太田国土交通大臣に要望(2014.7.9) 2015.10、宇野港利用者懇談会にてフェリー航路の維持・支援の要望が出された。 	
	ハード施策		
	鉄鉱石、穀物等の安価で安定的な供給の確保に資するインフラの整備		
官民が連携した施設整備の展開			
施設の計画的かつ適切な維持管理の推進			
[重点的なプロジェクト]			
水島港臨港道路整備の促進	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水島地区と玉島地区を結ぶ臨港道路の整備を推進中。(2016年度完了予定) 		
水島港国際バルク戦略ターミナルの整備	<p>【岡山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012.7、国際バルク戦略港湾計画に対応した港湾施設を水島港港湾計画に位置付け(港湾計画の変更)。[再掲] <p>【民間企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の穀物サイロ会社がサイロを増設整備し、いずれも2013年春に完成。 		
水島港国際物流ターミナルの整備の促進	<p>【国・岡山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年に耐震強化岸壁(水深12m)、泊地(水深12m)、埠頭用地、荷役機械が供用開始。 ・引き続き、玉島東航路(水深12m)の整備を推進中。 		

地域防災力・産業競争力の重点強化地域		
地域	政策提言の具体施策	フォローアップ ※【 】内は実施主体
備後 (福山等)	ソフト施策	
	国際バルク戦略港湾の機能の充実	【広島県】 ・2013.7、福山港国際バルク戦略ターミナル整備に向け、港湾計画を変更。 【国】 ・2013年度、資源・エネルギー等の海上輸送ネットワークの拠点となる埠頭において整備される荷さばき施設等に係る課税標準の特例措置(国際バルク戦略港湾に係る税制特例措置)の創設。[再掲]
	安全に配慮した潮汐の利用による航路航行、錨泊地の利用	【国・広島県等】 ・航行規制の諸課題について、関係者等との情報交換を実施中。
	企業間連携による2港寄り等による大型船の有効活用	【民間企業等】 ・2港寄り等による大型船の有効活用については、既に一部において実施されているところ。
	備讃瀬戸航路等のより安全かつ効率的な航行の実現	
	ハード施策	
	鉄鉱石等の安価で安定的な供給の確保に資する世界水準のインフラの整備 官民が連携した施設整備の展開	・2013.5、備讃瀬戸北航路(-19m)確保のための浚渫開始
[重点的なプロジェクト]		
福山港国際バルク戦略ターミナルの整備	【広島県】 ・2013.7、福山港国際バルク戦略ターミナル整備に向け、港湾計画を変更。[再掲]	
安芸 (広島等)	ソフト施策	
	欧米との長距離基幹航路で輸送されるコンテナ貨物に係る内航フィーダーの強化	【広島県】 ・国際コンテナターミナル港湾使用料の軽減措置を実施中(広島港、福山港)。
	コンテナターミナルの運営の効率化	【広島県】 ・2011.12、港湾の一体的かつ効率的な運営の促進を図るため、港湾計画を変更(効率的な運営を特に促進する区域)。 ・2014.7、荷役機械の共同利用を順次実施。(ターミナル資源の有効活用と荷役コスト縮減) ・2017.4目標港湾運営会社設立に向け手続き中。
	埠頭再編による港湾の高度利用の推進	【広島県】 ・2015.3、宇品地区等に生じている岸壁バース不足、既存施設の老朽化及び耐震岸壁の未整備といった諸問題を解決するため、ふ頭再編に伴う港湾計画を一部変更。
	計画段階での地元関係者との意見調整の推進	【広島県・民間等】 ・2014.4、港湾運送事業者を中心に組織された「港湾研究会」において、ワーキングを立ち上げ、課題解決に向けた議論を開始。
	物流、賑わい等の異なる機能の棲み分けによる物流機能の維持・強化	【広島県・広島市】 ・各種調査を実施中。 ・2016.7、港湾管理者にて広島港長期構想検討委員会・幹事会合同会議を開催。 2016.8に広島港宇品・出島地区基本構想検討会を立ち上げ、課題解決に向けた議論を開始。
	ハード施策	
	産業競争力の強化に資するインフラの整備 被災時の海上輸送機能の維持に資する耐震強化岸壁の整備	【国】 ・2015.4、広島港宇品地区ふ頭再編改良事業(岸壁(水深12m)耐震改良)に新規着手
	官民が連携した施設整備の展開 施設の計画的かつ適切な維持管理の推進	
	[重点的なプロジェクト]	
	コンテナ貨物の需要の増加に対応した広島港出島地区CFSの整備	【広島県・民間等】 ・2013年3月、広島港新国際CFSが供用開始。
	東西に広がる広島港の連携機能強化のための臨港道路の拡張と広島南道路の整備促進	【国・広島県等】 ・臨港道路廿日市草津線の4車線化について、新八幡川橋付近を整備促進中。 ・2014.3、広島南道路の一般道路部吉島～観音区間、自動車専用道路部吉島～商工センター区間が開通。
	企業の合理化に資する広島港の航路や泊地の整備	【国】 ・2016.1、広島港廿日市地区航路・泊地(水深12m)の整備を完了。
広島港海岸保全施設の整備の促進	【国】 ・広島港海岸中央西地区、中央東地区において高潮対策事業を推進中。	
岩国・大竹道路の整備促進	【国】 ・岩国・大竹道路の整備を推進中。	

地域防災力・産業競争力の重点強化地域		
地域	政策提言の具体施策	フォローアップ ※【 】内は実施主体
周防長門 (徳山下松・宇部等)	ソフト施策	
	国際バルク戦略港湾の機能の充実	【山口県】 ・2014.3、徳山下松港国際バルク戦略ターミナル整備に向け、港湾計画を変更。 【国】 ・2013年度、資源・エネルギー等の海上輸送ネットワークの拠点となる埠頭において整備される荷さばき施設等に係る課税標準の特例措置(国際バルク戦略港湾に係る税制特例措置)の創設。
	産業競争力確保の即戦力として、安全に配慮した潮汐利用による航路航行の再開	
	企業間連携による2港寄り等による大型船の有効活用と2次輸送網の拡張	【山口県・民間等】 ・2012.1、山口県国際バルク戦略港湾連携協議会を設立し、連携輸送に向けた検討に着手。 ・2014.12～海外炭の共同輸送を実施中。
	リサイクル貨物の取扱に係る規制緩和	
	ハード施策	
	石炭等の安価で安定的な供給の確保と産業競争力の強化に資するインフラの整備	
	官民が連携した施設整備の展開	
	被災時の海上輸送機能の維持に資する耐震強化岸壁の整備	
	施設の計画的かつ適切な維持管理の推進	
[重点的なプロジェクト]		
徳山下松港・宇部港国際バルク戦略ターミナルの整備	【国】 ・徳山下松港新南陽地区国際物流ターミナル(水深12m)の整備を推進中。2016年度完成予定。 ・2014.4、徳山下松港徳山地区航路(水深14m)化に着手 ・宇部港本港地区航路(水深13m)の整備を推進中。(2018年度完成予定) 【民間企業等】 ・2012.4、周南バルクターミナルが全面操業開始。 ・2013.2、周南バルクターミナルの陸揚げ機械「アンローダ」を1基増設し、2基体制へ。 ・2016.4、徳山下松港下松地区棧橋(水深19m)化に着手	
岩国港臨港道路整備、岩国・大竹道路、岩国南バイパスの整備促進	【国】 ・岩国港装束～室の木地区臨港道路の整備を推進中。 ・2016.4、岩国港装束～新港地区臨港道路の暫定供用を開始。 ・岩国・大竹道路の整備を推進中。 ・2008.3、岩国南バイパスは暫定2車線で完成し、供用中。	

各地域共通の主な施策
・日本再興戦略の推進による企業立地の促進
・国土強靱化(防災・減災)の推進による地域防災力の強化
・コンビナート港湾の強靱化の推進
・支援物資等の輸送に係る連携体制の構築
・運輸安全マネジメント、運行(航)管理制度の徹底、事後チェックを組み合わせた各輸送モードの安全確保
・船舶管理会社等の活用による緩やかなグループ化を通じた労働環境の改善(担い手の確保)
・船員教育機関における船員養成の促進、船員教育機関以外からの就業促進(担い手の育成)